



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域環境を活かした地域づくり／自分ごと人財の育成

池田 幸應 (いけだ ゆきお)

金沢星稜大学名誉教授



○ 登録者情報

所在地

石川県金沢市

略歴

● 石川県金沢市に生まれ育ち、1984年3月 金沢大学大学院 教育学研究科 修了(教育学修士)し、1984年4月 金沢経済大学(現 金沢星稜大学)に着任、2002年4月 経済学部教授、2007年4月 人間科学部教授、「地域が教育・研究室」として、野外教育、地域ボランティア、地域活性学の視点から地域の課題解決に向けた活動実践や次世代育成に尽力、2024年4月～金沢星稜大学 名誉教授として現在に至っています。

● 社会的委員等(現行中のもの、抜粋):公益財団法人石川県県民ボランティアセンター 理事 [2017年1月～]、穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会長 [2015年4月～]、一般社団法人日本ライダーズフォーラム(JRF) 理事 [2023年4月～]、NPO法人地球元気村 テラナビ委員会 委員 [2023年4月～]、金沢市学生のまち市民交流館運営会議 アドバイザー [2024年9月～]、金沢市青少年団体協議会 かなざわユースプロジェクト ファシリテーター [2020年7月～]、日本赤十字社石川県支部 石川県赤十字安全法委員会 委員 [1998年4月～]、日本地域政策学会理事[2012年7月～]および地域活性学会理事[2021年2月～]

● 主な受賞(個人、抜粋):2004年12月「私立学校教職員功労者県知事表彰」(石川県)、2017年3月「災害復興功労者感謝状」(穴水町)、2017年5月日本赤十字社創立140周年特別表彰「社業功労者社長特別表彰」(日本赤十字社)、2022年10月「金沢学生のまち推進に関する表彰」(金沢市)、2023年11月「穴水町功労者表彰」(穴水町)、2025年9月「地域活性学会貢献賞」(地域活性学会)

著書・論文等(抜粋)

- ・『実践・生涯スポーツ』(不昧堂出版、1995年5月、p.p.166-192を担当)
- ・人的資源活用による地域ブランドの可能性ー石川県穴水町における大学との連携事例としてー(日本地域政策学会 日本地域政策研究第26号、2021年3月)
- ・地域に生きること、それは、日々の人びととの出会いと笑顔(石川県社会教育協会 接点 第68号、2021年3月)
- ・能登地方における『道の駅』を用いた観光・防災施設ネットワークの創出に関する研究(第30回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業、2025年9月)

○ 地域環境を活かした地域づくり／自分ごと人財の育成

取組の内容

これまでの大学教員や官民連携活動の経験を活かし、金沢市を拠点に、特に能登地域での地域環境を活かした地域振興に取り組んでいます。

例えば、総務省「域学連携」や大学コンソーシアム石川「地域課題研究ゼミナール支援事業」等でも能登過疎高齢化地域での伝統文化(祭りなど)継承、「ボラ待ち櫓」再興、スポーツツーリズム推進などに学生と共に関係人口促進し、「令和6年能登半島地震」に際し、日本赤十字社災害ボランティアメンバーとして発災直後から現地活動に携わり、加えて次世代の防災教育や災害ボランティア活動の継続的支援を行っています。特に穴水町では復興計画策定や総合戦略の座長として、地域の復興、振興に関わっています。また、JRF理事として、全国のライダーの社会貢献活動への参画推進に努め、能登地域での災害支援ボランティア活動を継続的に支援し、現在、自治体、日本赤十字社、総務省(消防局)等と連携した全国的な「災害支援バイク隊」の仕組み構築に向けて取り組んでいます。



総務省域学連携事業での能登地域での祭り支援



穴水町での地域連携によるボラ待ち櫓の再興

実績

- ・総務省「域学連携サミットin能登」実行委員(2012年2月)、中期滞在型「域学連携」地域づくり活動に関する調査研究会委員(2013年度)など
- ・穴水町における「こどもエコロジーキャンプ」総合プロデューサー(2001～2011年)、「ボラ待ち檣」の再建(2017～2024年)、「あなみずスポーツツーリズム推進委員会」委員長(2021～2022年)、「ボラ待ち檣フォーラム」企画・開催(2022年)、総合戦略審議会座長(2015年～現在)、復興計画策定委員会座長(2024年)、「第1回あなみずイサザ復興ミーティング」企画・開催(2025年)など
- ・能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会へJRF理事としての地域振興策の提案(2025年)

工夫した点や苦勞した点

最も大切な地域資源は「地域の人、地域に関わる人」であり、その人と人を繋ぎ、交流から協働、そして創生につながることで地域を元気にするに繋がります。そのために、私自身も実際に現地に入り、「地域を感じる」ことを大切にしており、自分ごととして地域の方々と共に協働、実践しようと取り組んでいます。ただし、自身の限界を謙虚に知り、他の人たちから力を借り、チームとして協働で取り組むことが大切だと思っています。

ひとことPR

それぞれの地域には、多くの地域資源(特に「人」)やその特性があり、地域の課題解決は地域に対する「自分ごと意識」から始まります。地域の方々の思いや行政施策も含め、チームとして地域をより元気にできるよう、先ず「笑顔」の環を拡げ、情報共有し、実践サポートして行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
○ その他 (防災、災害支援人材育成)	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

連絡先

メールアドレス	yukio.ikechan.0913[アットマーク]gmail.com		
---------	-------------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。